

大腸癌全国登録委員会議事録

日時：2012年1月19(木) 11:00-12:00 (第76回大腸癌研究会)

場所：栃木県総合文化センター 第3会議室

出席者：浅野道雄、加藤知行、小平 進、固武健二郎、小山靖夫、斉田芳久、高橋慶一（五十音順）小澤平太（事務局）

1. 前回委員会（平成23年7月）の議事録が承認された。
2. 報告事項
 - ① 登録作業の進捗状況
2003-2004年治療例の登録を2011年11月に締め切ったが登録施設数が61施設にとどまっている（登録施設名：資料配布あり）。登録期間を延長したい。
 - ② 登録情報利用申請：過去6か月に申請なし
 - ③ NCDにおける臓器がん登録について
日本外科学会が中心となって推進しているNCDの枠組みの中で臓器がん登録を実施することが計画されている。具体的な方策を検討するために平成24年の厚労科研がん臨床研究が申請されており固武も本研究会を代表して共同研究者に加わる予定。本登録も協力的に作業を進めてゆきたい。
3. 討議事項
 - ① 2003-2004年治療例の登録期間について
登録期間を2012年3月まで延期することとした。1月20日の施設代表者会議および研究会ホームページで周知することとした。
 - ② 次期登録スケジュール
次期登録は2005年単年度症例を対象として、登録期間は2012年3月～12月とすることとした。
 - ③ Prospective registryの再開と対象年度について
今回は決定せず。今後NCDの進捗状況を見ながら検討してゆくこととした。
 - ④ NCDにおける臓器がん（大腸がん）登録について
NCDのがん登録事業に参加し協力的に作業を進めてゆくこととした。
4. その他
 - ① 大腸癌肝転移データベースの進捗状況
今回の倫理委員会に研究計画書を提出したところ、匿名化コード、知的財産権などに関する若干の修正を求められた。肝胆膵外科学会とも協議しながら計画書を改訂して倫理委員会に再提出する。登録開始は計画より若干遅くなる（高橋委員）。

④ その他

2000-2002 年症例のデータクリーニングの経過が報告され、今後の精度管理の在り方が議論された。(浅野委員) 具体的な対策として、入力フィルターの強化、事務局での check 強化と不備例の問い合わせによる修正等を検討すべきことが指摘された。

文責：小澤平太 (栃木県立がんセンター)